RYODEN

2019年3月期

# 会社説明会資料

2018年12月12日

菱電商事株式会社

# 目 次


1. 当社グループの概要
2. 業績・財務の状況
3. 中 期 経 営 計 画
4. 今 後 の 事 業 展 開

# １．当社グループの概要

# 当社の概要

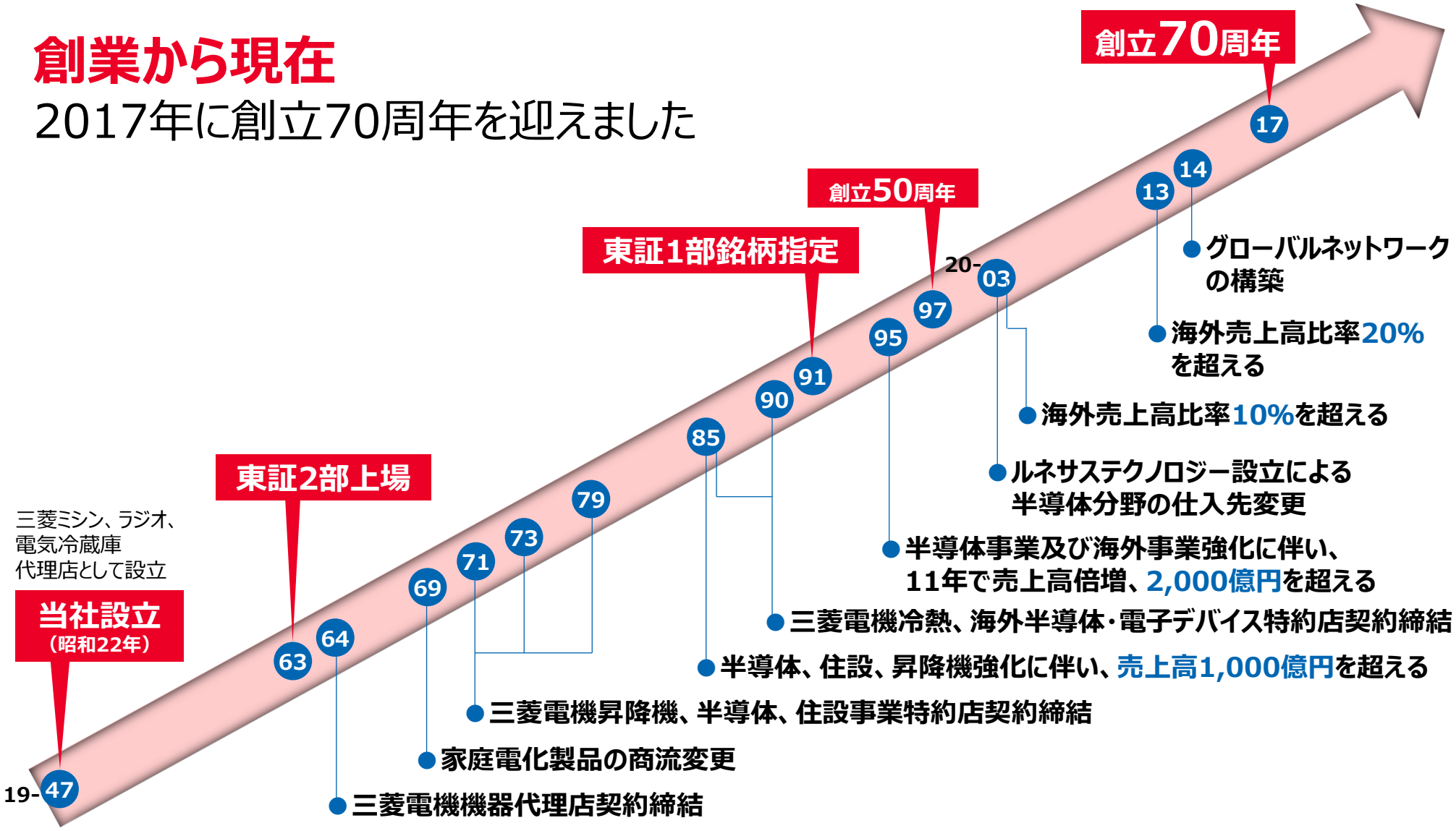
| | |
|---|---|
| 商　　号 | 菱電商事株式会社　（Ryoden Corporation） |
| 設　　立 | 1947（昭和22）年4月22日 |
| 本　　社 | 東京都豊島区東池袋3-15-15 |
| 資 本 金 | 103億3,429万8,875円（2018年4月1日現在） |
| 株　　式 | 東京証券取引所市場第一部上場 <コード:8084> |
| 代 表 者 | 代表取締役社長　正垣　信雄 |
| 従業員数 | ●連結：1,284名<br>●単体：1,053名（ともに2018年3月末現在） |
| 売 上 高 | ●連結：2,364億円<br>●単体：2,101億円（ともに、2018年3月期） |
| 関係会社 | ●子会社：13社（連結10社＋非連結3社）<br>●関連会社：1社（持分法適用）<br>●その他の関係会社：1社（三菱電機株式会社） |

# 当社グループの歩み

RYODEN

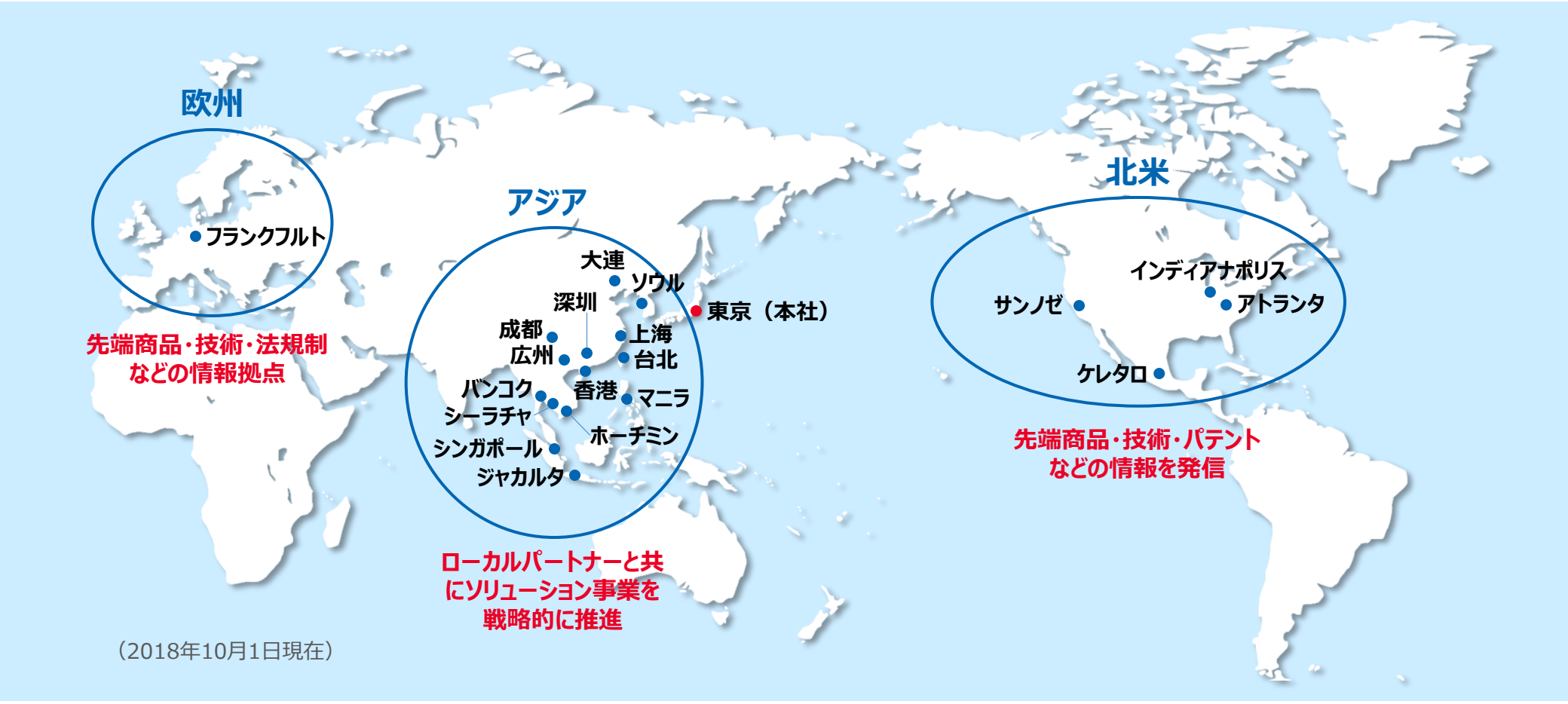
## 創業から現在

2017年に創立70周年を迎えました



# グローバル拠点展開の状況

海外11カ国に設置した現地法人を中心に、ブランチ等を含め計50拠点を展開
**域内市場を俯瞰した戦略一元化と強固なネットワーク間連携により、グローバル体制を構築**




（2018年10月1日現在）

# 事業内容

RYODEN

FAシステム品、冷熱システム品、IT施設システム品、エレクトロニクス品の仕入・販売
および各事業に附帯するサービスを提供

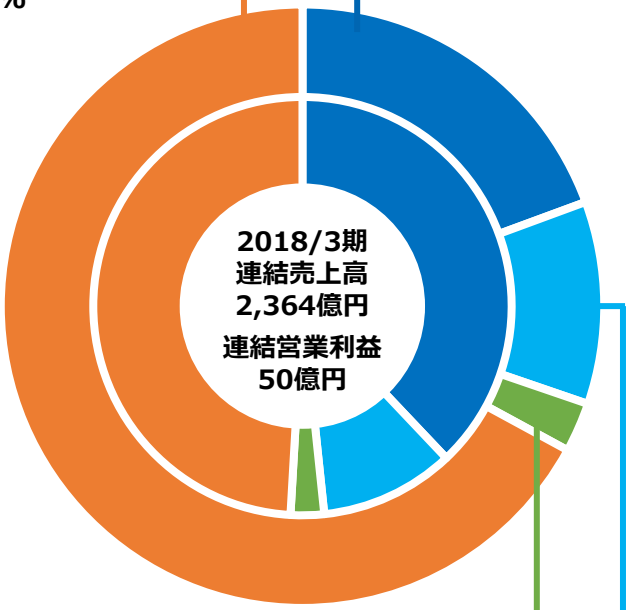
## セグメント別 売上高（外円）および営業利益（内円）

### エレクトロニクス
【売】1,586億円／67.1%
【営】24.9億円／49.1%

- 電子デバイス
- 産業システム　など

### IT施設システム
【売】63億円／2.7%
【営】1.3億円／2.6%

- ビルシステム
- 情報通信　など
  - ・情報ソリューション
  - ・セキュリティソリューション
  - ・画像・映像ソリューション




### FAシステム
【売】458億円／19.4%
【営】19.2億円／37.9%

- FA機器システム
- 産業メカトロニクス
- 縫製機器　など

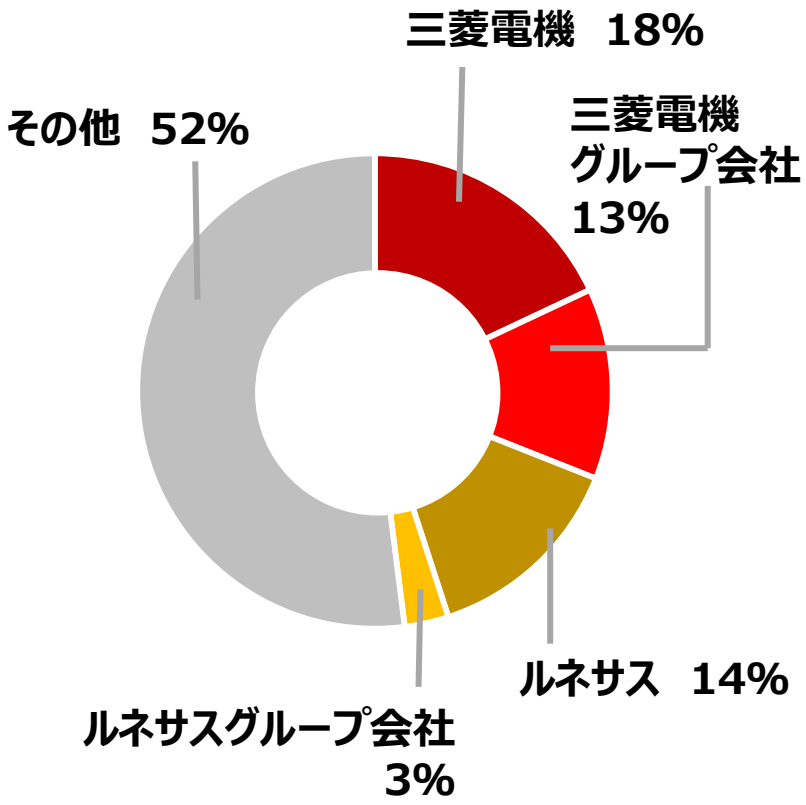
### 冷熱システム
【売】256億円／10.9%
【営】5.2億円／10.4%

- 空調設備
- 住設設備
- 低温応用設備
- クリーンルーム設備工事
- 産業冷熱システム　など

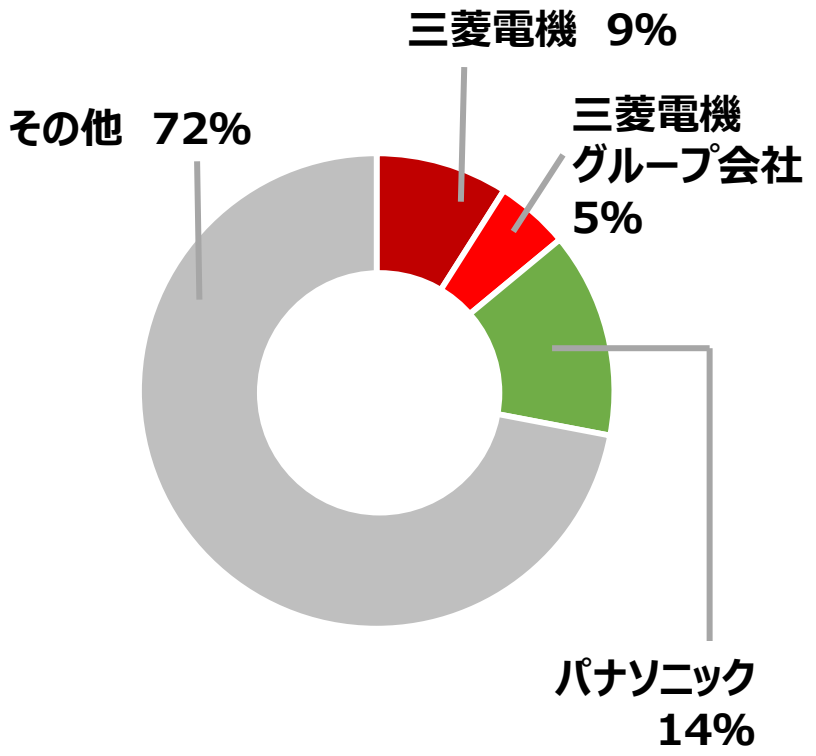
# 仕入先・販売先の状況

仕入先では三菱電機系とルネサス系、販売先では三菱電機系とパナソニックが
比較的大きな取引シェアを持つものの、その他の構成比がともに過半を占める

**仕入先別の構成比（仕入額ベース）**




**販売先別の構成比（販売額ベース）**



# 菱電商事とは…　①目指す姿

当社は、自社の強みを活かした成長を果たすべく、中期経営計画において“目指す姿”（ビジョン）を明確に設定し、実現への取り組みを推し進めています

**中期経営計画『CE2018』ビジョン**

# Global Solution Provider

**グローバル・ソリューション・プロバイダー ⇒ 独自の顧客価値を創出・提供し続ける**

## 事業推進

**顧客に徹底して寄り添い**、相互に信頼関係を結んだパートナー企業とともにベスト・ソリューションを提供する。

## 人材育成

コミュニケーション能力を高め、高い感度と感性をもった**グローバル人材**を強化・育成する。

## 社会貢献

利益追求のみに留まらず、**真のグローバル企業として**地域社会の発展と関わる人々の幸福な生活に貢献する。

# 菱電商事とは…　②当社グループの強み

国内外のお客様が抱える様々な課題を解決するために
**既存事業の枠を超え、常に新たなソリューションを開発**・提供

**beyond borders**

既存の事業の枠を超えて
- グローバルネットワーク
- 卓越した技術力
- 専門知識
- 情報力

を駆使

**充実した顧客基盤**

**2,000社超**

# ２．業績･財務の状況

～ 2019年3月期　第2四半期　決算の概要 ～

# 決算ハイライト（連結）

RYODEN

## 【市場・業界環境】

- 設備関連・FA関連・産業機器関連・省エネルギー関連などが好調を維持
- 自動車関連でも国内・欧州向けが堅調に推移

## 【業績・成果】

- **前期に引き続き、増収増益基調を確保**

【セグメント情報の一部変更について】

- 全社に係る新規事業開発費用を事業セグメントに配賦しない方法に変更
- セグメント名称変更、従来の「IT施設システム」を「ICT施設システム」に変更
- 前年同期との比較については、前年同期の数値を当該変更後の数値で比較

# 決算サマリー（連結）

| | 2018/3<br>第2四半期<br>（百万円） | **2019/3<br>第2四半期<br>（百万円）** | 増減率<br>（%） |
|---|---|---|---|
| **売上高** | 111,711 | **117,939** | +5.6 |
| **売上総利益** | 11,519 | **12,170** | +5.7 |
| **営業利益** | 2,043 | **2,364** | +15.8 |
| **経常利益** | 2,236 | **2,340** | +4.7 |
| **親会社株主に帰属する<br>四半期純利益** | 1,521 | **1,610** | +5.9 |

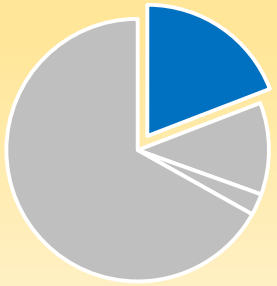
# セグメント別の業績動向　1/4

RYODEN

## FAシステム

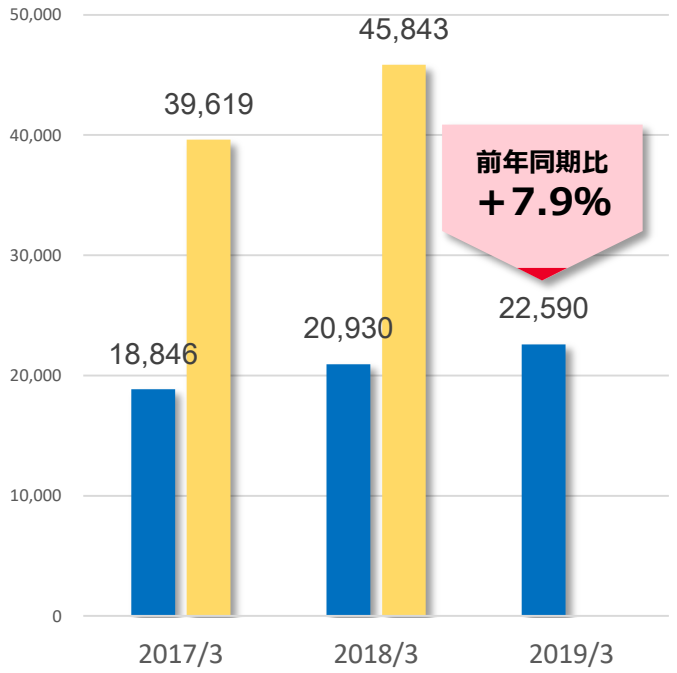
2019年3月期2Q
売上高構成比

**19.2%**

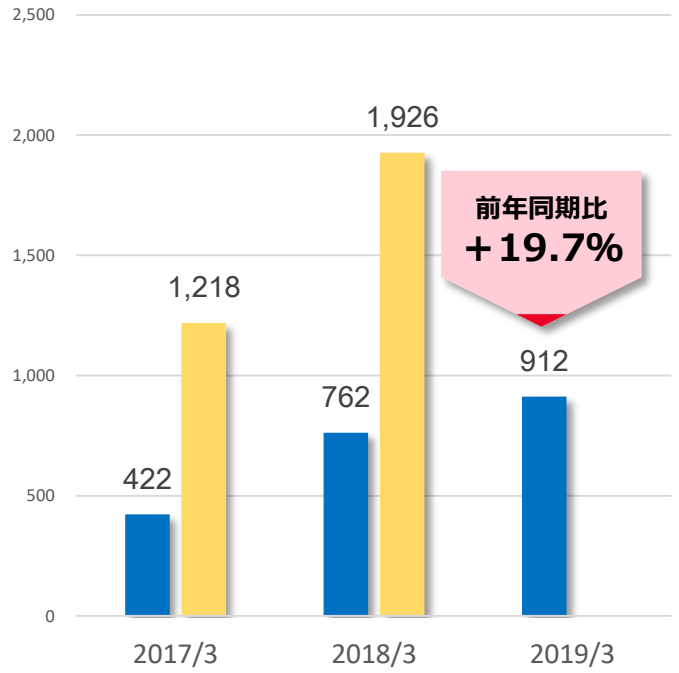


2Q　通期

### 売上高（百万円）




### 営業利益（百万円）




**主なポイント**

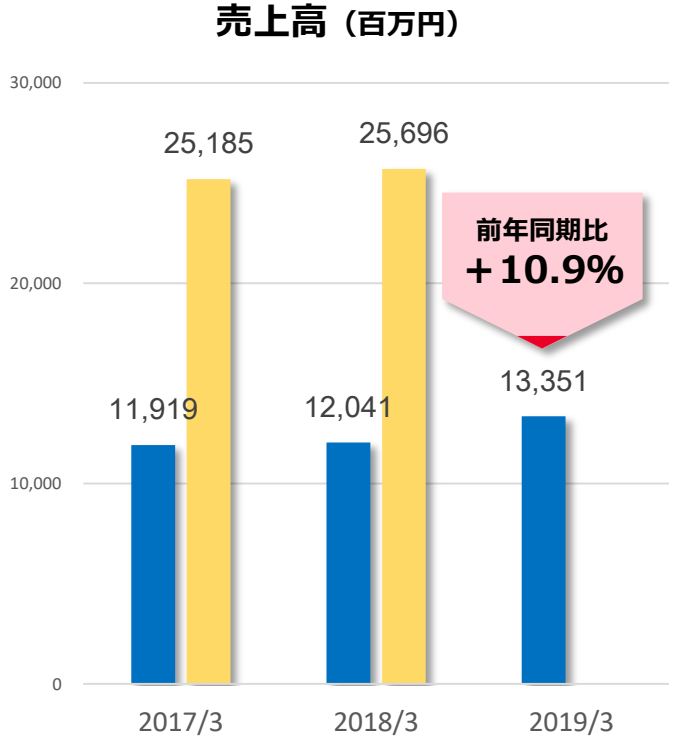
- **工作機械、半導体・液晶関連製造装置、機器販売店向けが好調に推移**
- **自動化に関連した設備投資案件も堅調に推移**
- **利益面では、上記の通り各セクターの増収が営業増益に貢献**

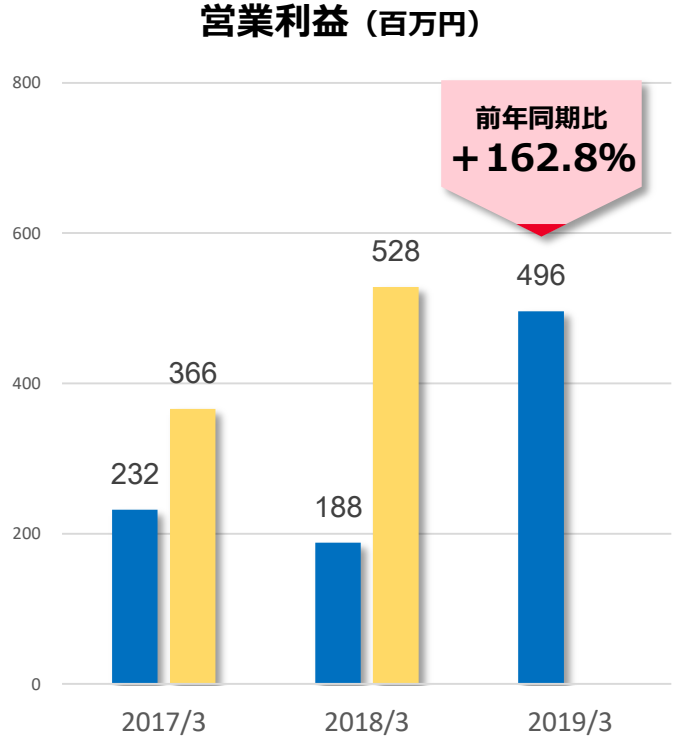
注：2019/3期2Qより、セグメント利益（営業利益）から全社費用（ゼグメントに帰属しない新規事業開発費用）を除いております。
2018/3期2Qのみ遡及修正した数字を掲載しておりますが、他はすべて同費用が含まれております。 以下、同様。

# セグメント別の業績動向　2/4

## 冷熱システム

2019年3月期2Q
売上高構成比
**11.3%**




**主なポイント**

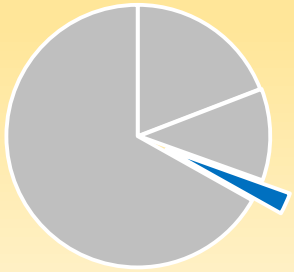
- 大都市を中心とした大手設備業者向け案件は軟調
- 猛暑効果もあり機器卸店向けが好調に推移、また、冷凍・冷蔵の低温分野も好調に推移
- 大幅増益の主な要因は、増収と売上総利益率の改善

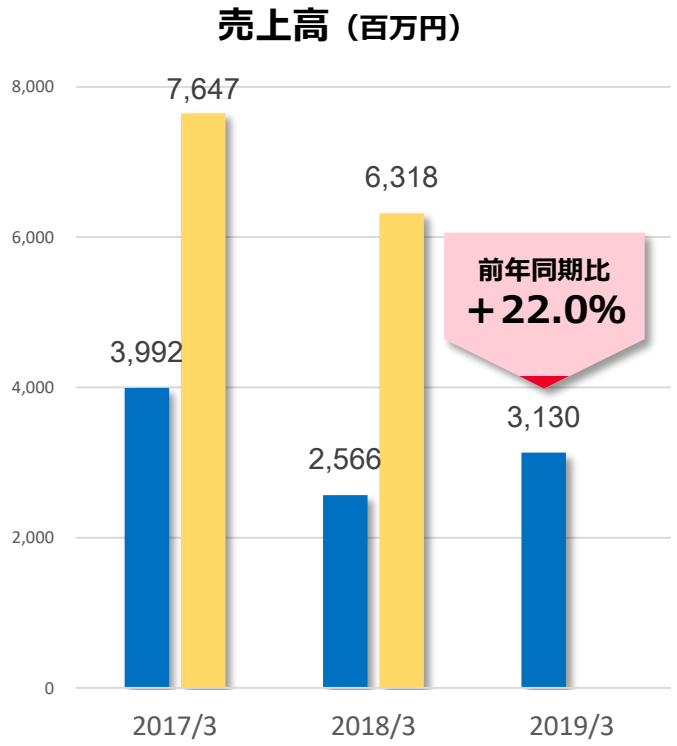
# セグメント別の業績動向　3/4

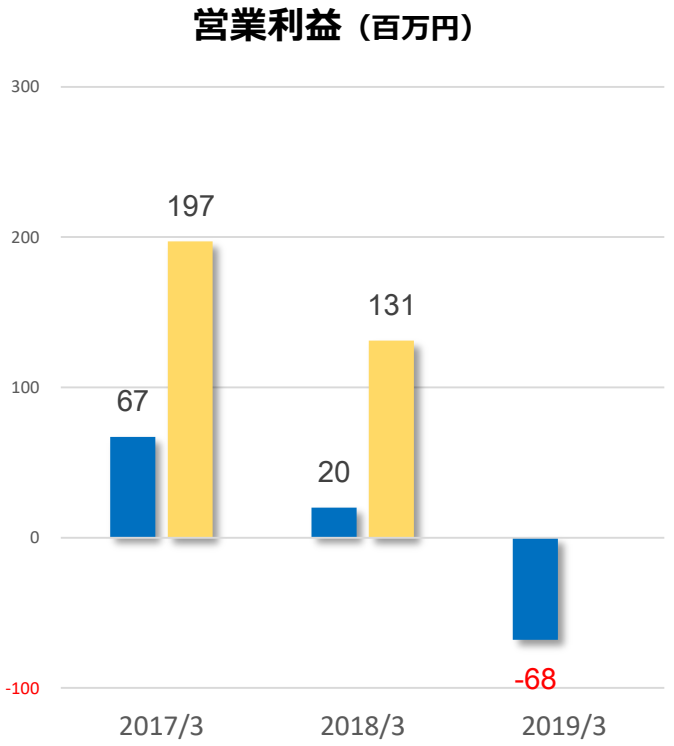
## ICT施設システム

2019年3月期2Q
売上高構成比

**2.7%**






**主なポイント**

- 情報通信分野・メディカル分野におけるICTネットワーク関連機器が好調に推移
- ビルシステム分野では大都市を中心に建設市場の好況等からビル設備関連が堅調に推移
- 営業損失の主な要因は、今年度スタートのスマートアグリ事業の本格的な売上貢献が下期以降となるため

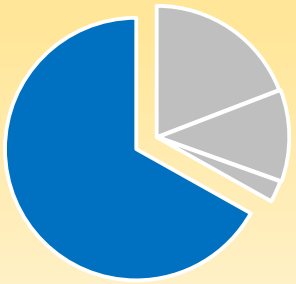
# セグメント別の業績動向　4/4

RYODEN

## エレクトロニクス

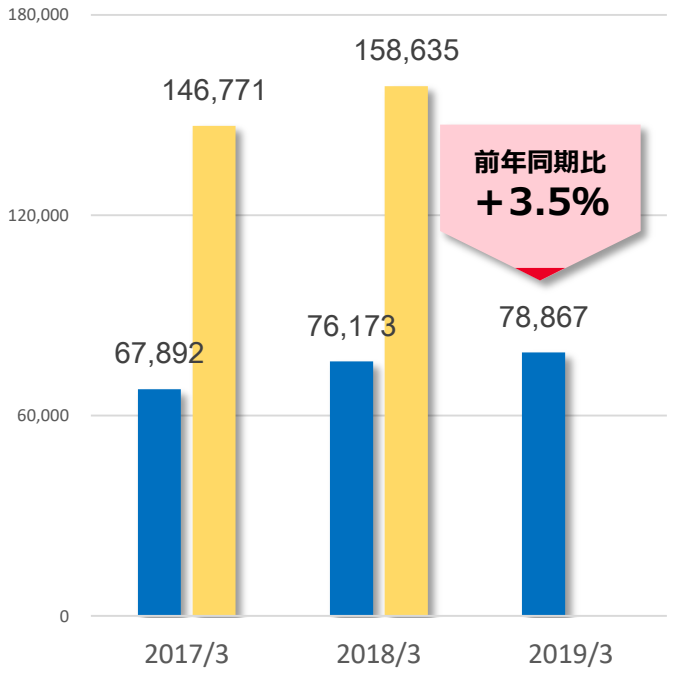
2019年3月期2Q
売上高構成比

**66.9%**

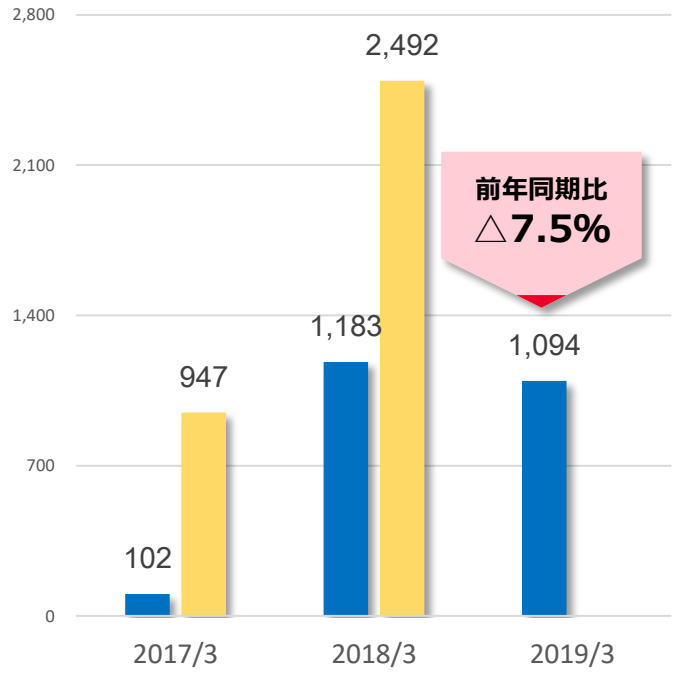


2Q　通期

売上高（百万円）




営業利益（百万円）




**主なポイント**

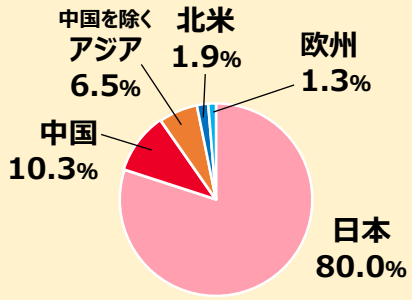
【国内】●自動車関連の国内・欧州向け生産が堅調に推移
●産業機器関連では、工作機械、実装機、半導体製造装置など中国向けFA関連ビジネス、エアコンを中心とした白物家電関連ビジネスが堅調
【海外子会社】●自動車関連製品の販売が北米地域で低調
●産業機器関連は中国地域向けの販売が堅調に推移
●営業減益の主な要因は、売上総利益率の低下と販管費の増加

# 地域別の売上高推移

RYODEN

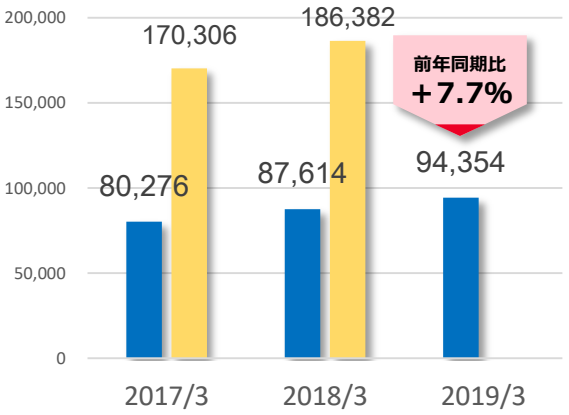
## 地域別売上高構成比

2019年3月期2Q

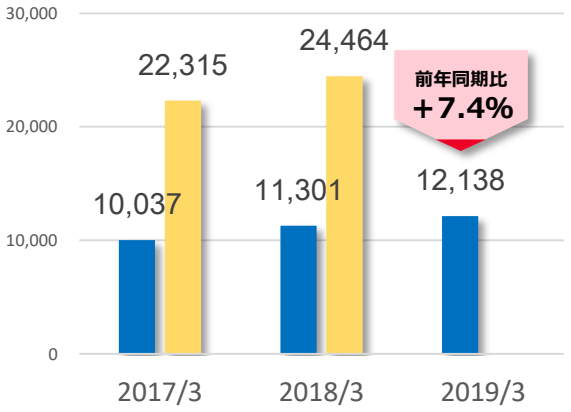



2Q 通期

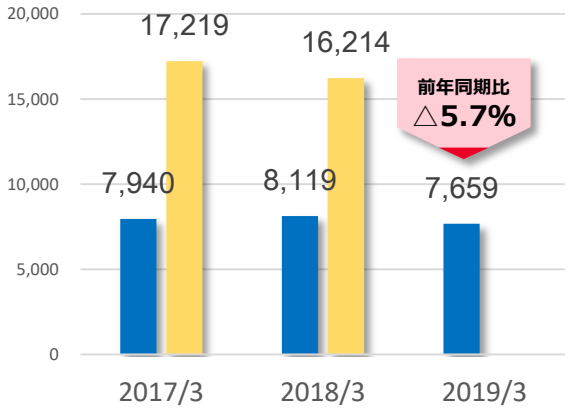
### 日本（百万円）



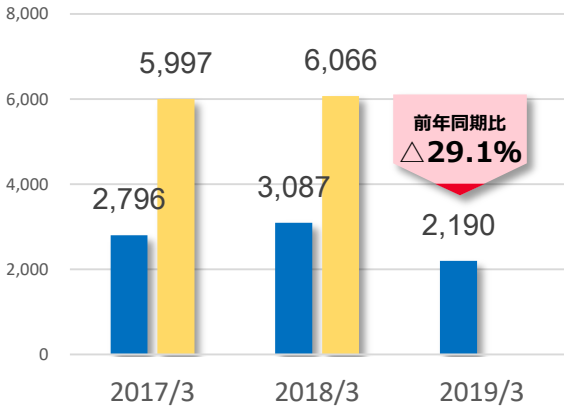

### 中国（百万円）



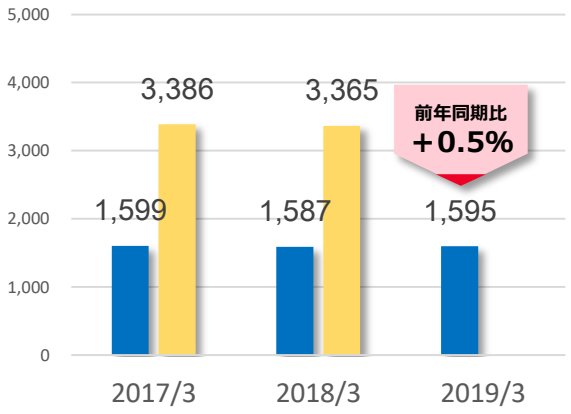

### 中国を除くアジア（百万円）



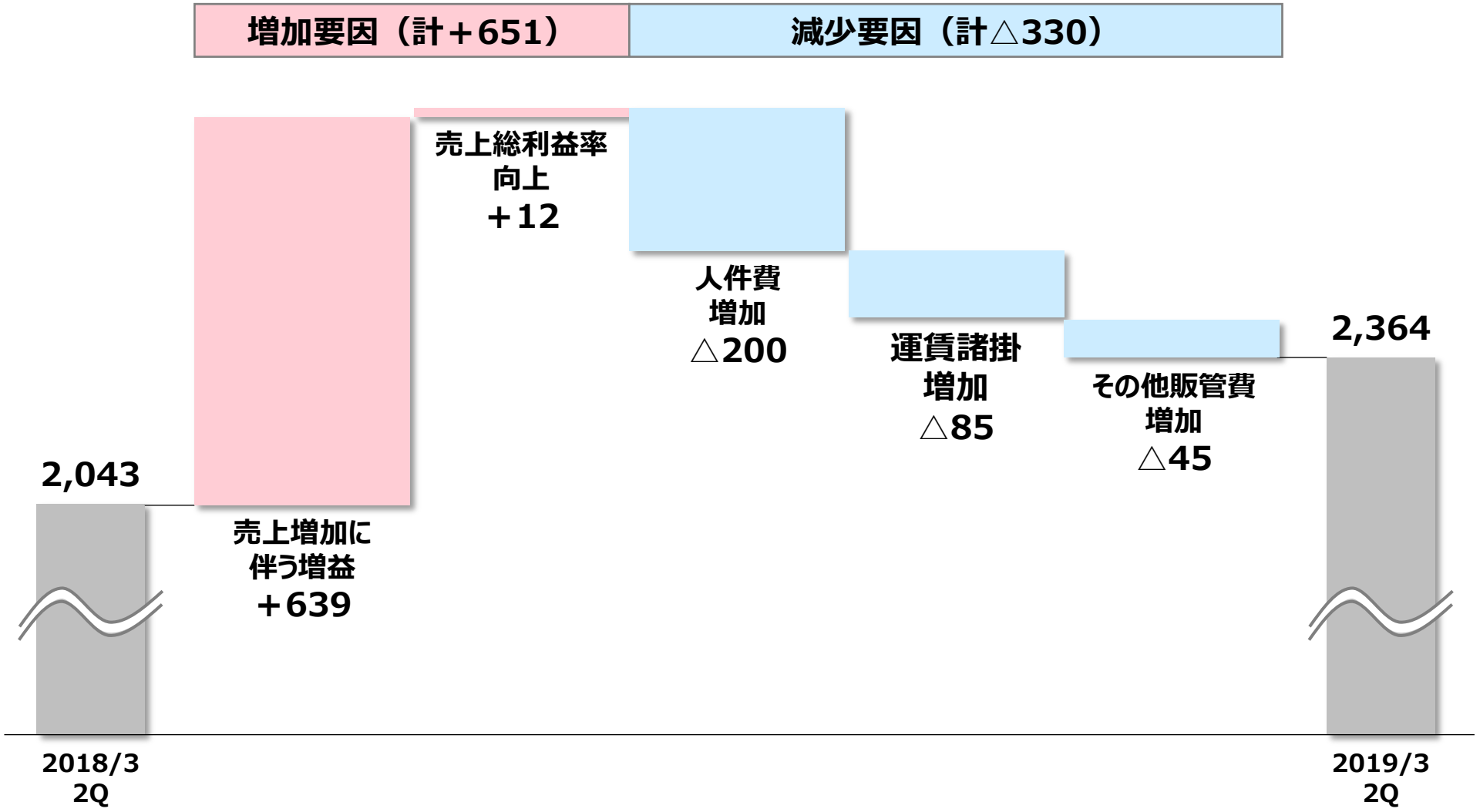

### 北米（百万円）




### 欧州（百万円）



# 営業利益の増減要因


増加要因（計＋651）
減少要因（計△330）
2,043
売上増加に伴う増益 ＋639
売上総利益率向上 ＋12
人件費増加 △200
運賃諸掛増加 △85
その他販管費増加 △45
2,364
2018/3 2Q
2019/3 2Q

# 財務の状況（連結）

RYODEN

【財政状態】

| | 2018/3末<br>（百万円） | 2018/9末<br>（百万円） | 増減 |
|---|---|---|---|
| 総資産 | 133,710 | 131,641 | △2,068 百万円 |
| 負債合計 | 69,652 | 66,560 | △3,091 百万円 |
| 純資産 | 64,057 | 65,081 | ＋1,023 百万円 |
| 自己資本比率（%） | 47.8% | 49.3% | ＋1.5 point |

【CFの状況】

| | 2018/3　2Q期間<br>（百万円） | 2019/3　2Q期間<br>（百万円） |
|---|---|---|
| 営業活動CF | △2,245 | 4,799 |
| 投資活動CF | △231 | △255 |
| 財務活動CF | △869 | △44 |
| 現金及び現金同等物 | 15,707 | 18,398 |

# 2019年3月期　通期業績見通し（連結）

| | 2018/3<br>（百万円） | **2019/3<br>（百万円）** | 増減率<br>（%） |
|---|---|---|---|
| **売上高** | 236,494 | **237,000** | +0.2 |
| **営業利益** | 5,078 | **5,200** | +2.4 |
| **経常利益** | 5,055 | **5,400** | +6.8 |
| **親会社株主に帰属する<br>当期純利益** | 3,588 | **3,700** | +3.1 |

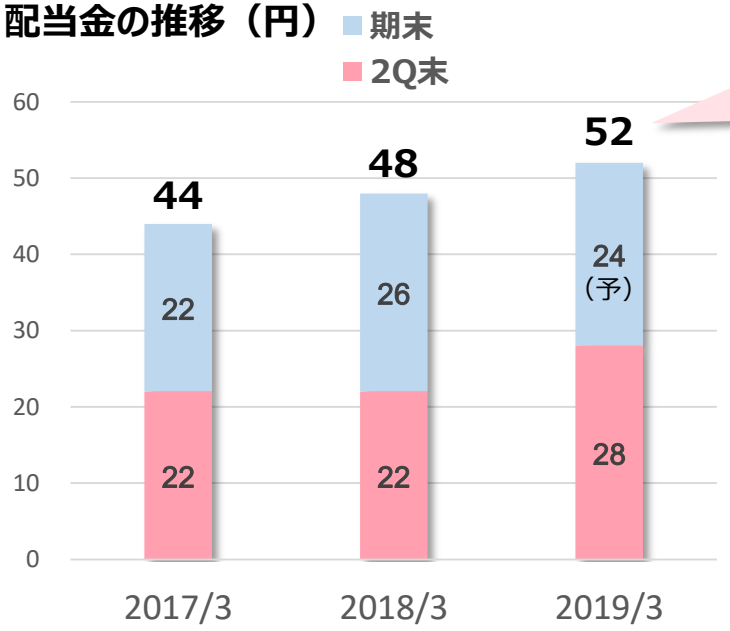
# 株主還元

RYODEN

## 【配当政策】

- 経営基盤・財務体質の強化のための内部留保の拡充と事業拡大のための投資財源への活用を基本として、株主各位への適正な利益還元を実施
- 配当については、各事業年度の連結業績および中長期的なグループ戦略等を勘案の上、利益還元を実施
- 自己株式の取得についても、株価の動向や財務状況を勘案のうえ実施する予定

## 【配当実績】




| | | | |
|---|---|---|---|
| 配当性向 | 68.7% | 29.0% | 30.5%（予） |

**2019/3期 2Q末配当について**

- **業績が堅調に推移したこと、株主還元策を強めていきたいこと等により、当2Q末配当を当初予想から4円増配し、28円に（前年同期比 6円の増配）**

**2019/3期 期末配当について**

- **当初予想の通り**

注：2017年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を実施しているため、配当金は、すべて過去に遡って当該株式併合の影響を考慮した金額で記載

# ３．中期経営計画

# 中期経営計画　①前中計からこれまで

RYODEN

## 当社は、前中計より、“新たな菱電商事の在り方”を見つめ直し、商社の枠組みを超えた新たな機能の構築をスタート

| 2013年度 | 2014年度 | 2015年度 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 |
|---|---|---|---|---|---|
| 2014/3 | 2015/3 | 2016/3 | 2017/3 | 2018/3 | 2019/3 |

前 中 期 経 営 計 画

**GSP15**
Growth Strategy Plan 2015

現 中 期 経 営 計 画

**CE2018**
Challenge & Evolution 2018
～100年企業を目指して～

- **2013年度から、顧客ニーズに合わせて付加価値を創造するソリューション機能の構築を開始**
- **前中計では、そのための人材投資も積極化**
  **（2013～2015年度で約140名を増員、人件費は約40億円増加）**
- **同時に、グローバル化の拠点拡大も積極化**
  **（海外拠点は、2013年4月：8カ国14拠点　⇒　2018年10月：11カ国19拠点）**
- **現中計において、ソリューション機能の構築をさらに加速**

# 中期経営計画　②現中計の位置づけ

RYODEN

現中計では、「グローバル・ソリューション・プロバイダー」という明確なビジョンを策定し、その実現に向けた取り組みに注力

| 2016年度<br>2017/3 | 2017年度<br>2018/3 | 2018年度<br>2019/3 |
|---|---|---|

**CE2018**　Challenge & Evolution 2018
～100年企業を目指して～

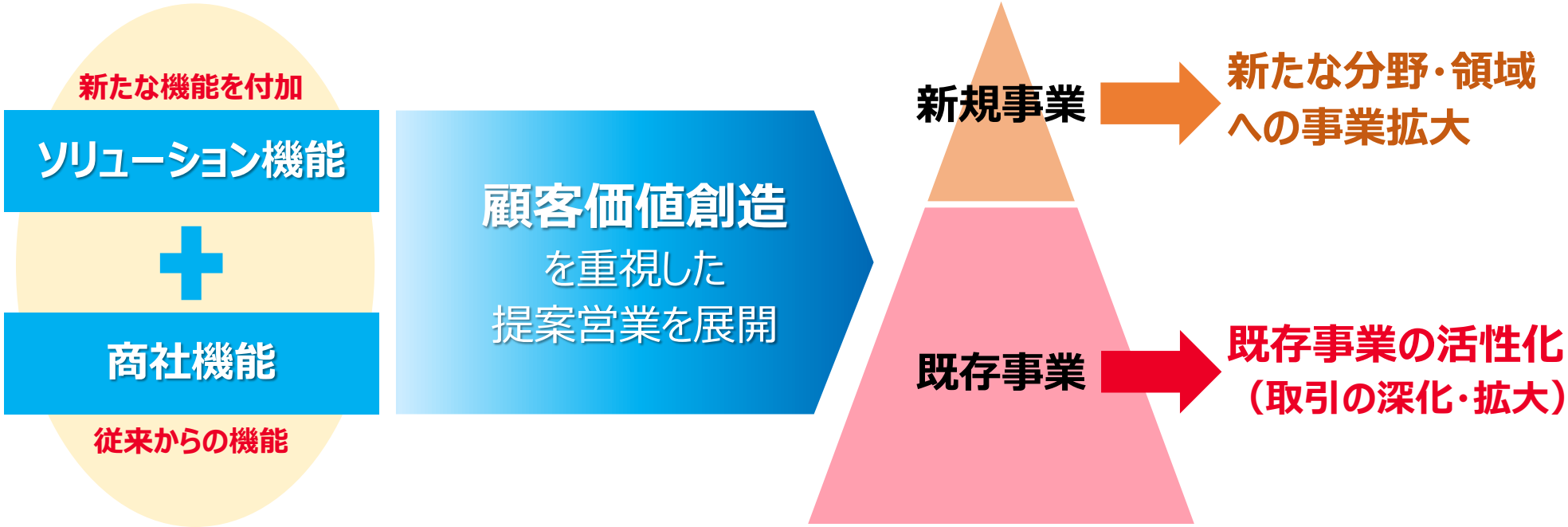
- 事業環境の変化に適応した「グローバル・ソリューション・プロバイダー」として**事業強化**を図る
- 顧客や市場における当社グループの存在価値を高め、**収益性の向上**を図る

# 中期経営計画　③新たなビジネスモデル構築へ

RYODEN

## 顧客価値創造型ビジネスモデル

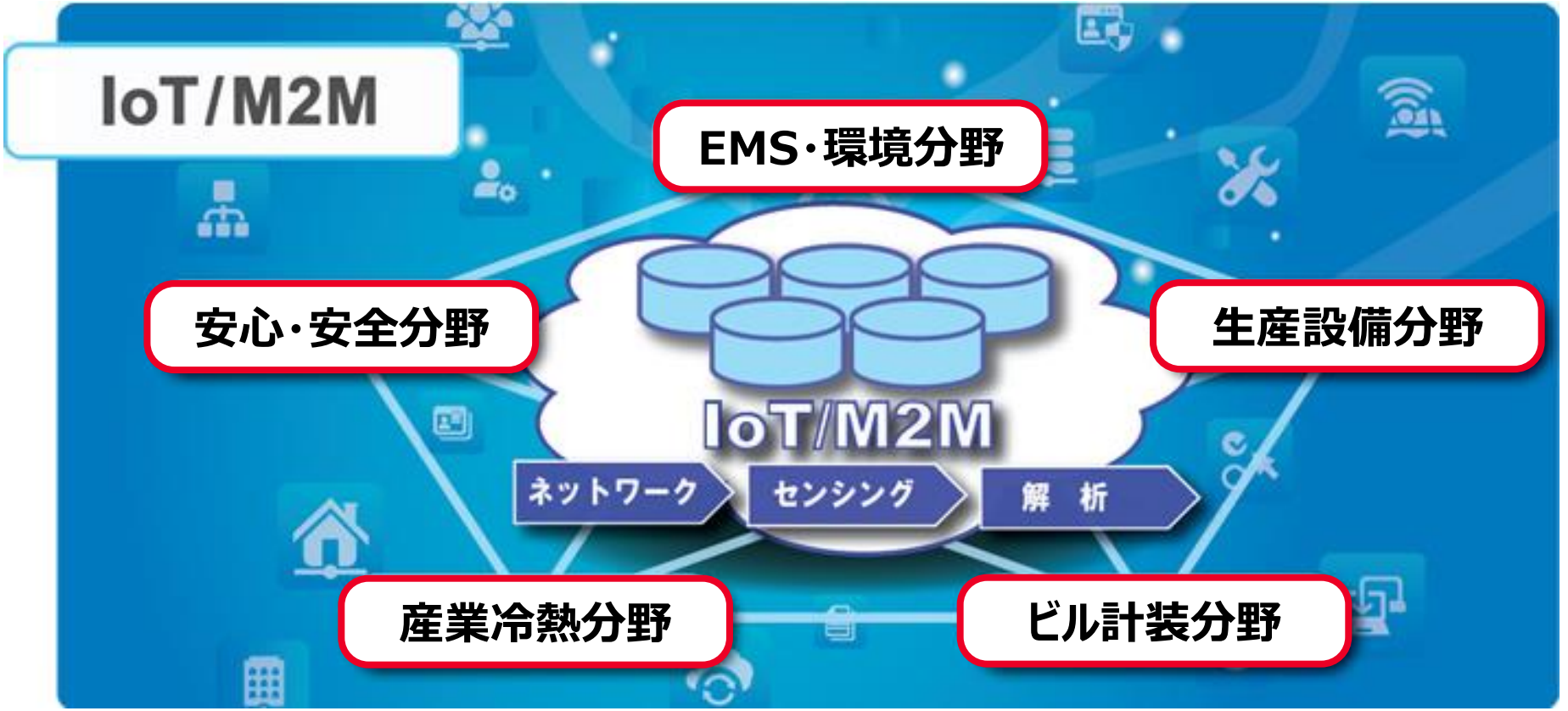
商社機能に加え、顧客ニーズに合わせて付加価値を創造するソリューションを提供することで
新たなビジネスモデル「顧客価値創造型ビジネスモデル」を構築し
既存事業の活性化（取引の深化・拡大）、新たな分野・領域への事業拡大を図る



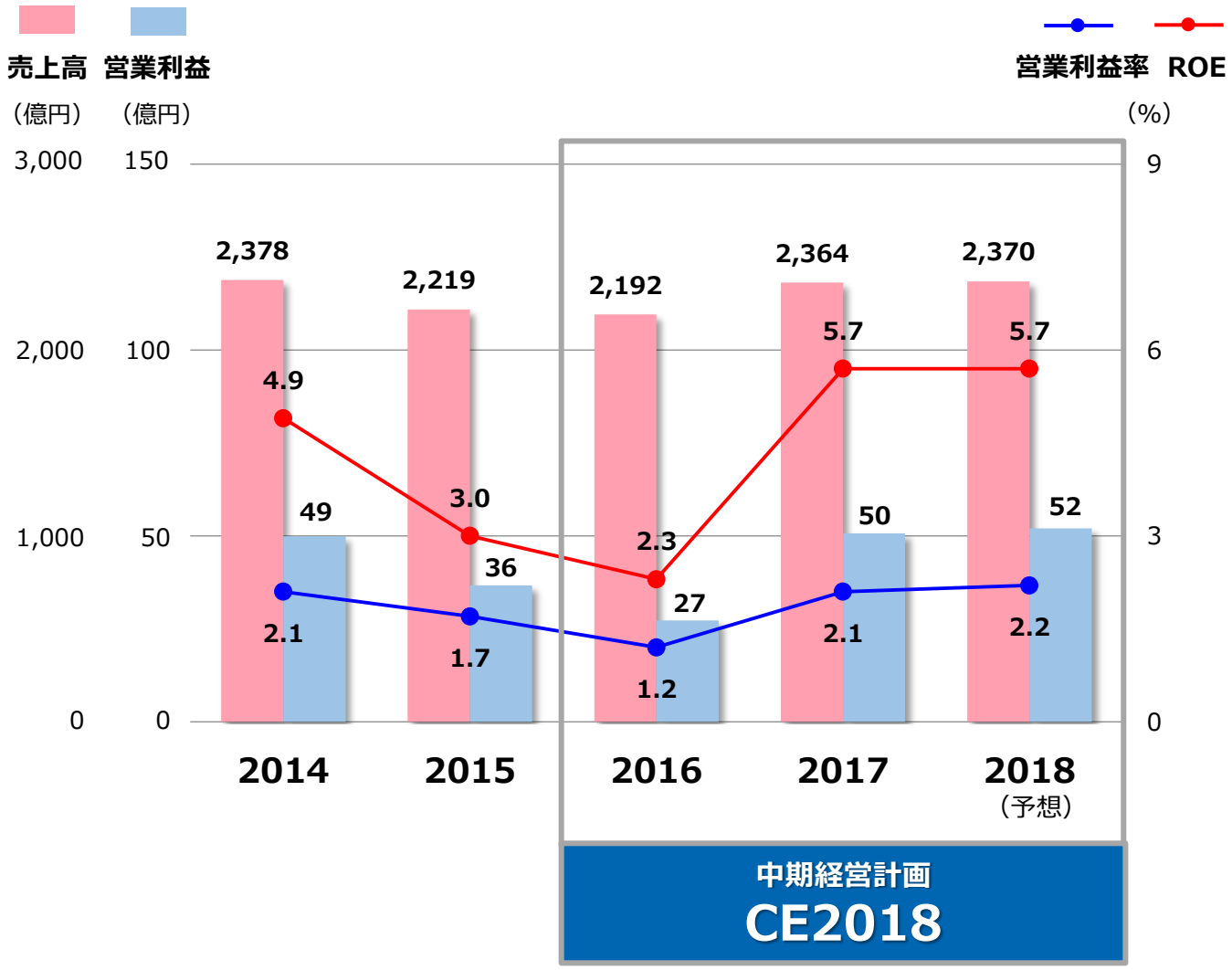
# 中期経営計画　④注力推進分野

RYODEN

## コア技術となる“ネットワーク/センシング/解析”を当社の強みとして、5分野に注力



# 経営目標と実績・予想

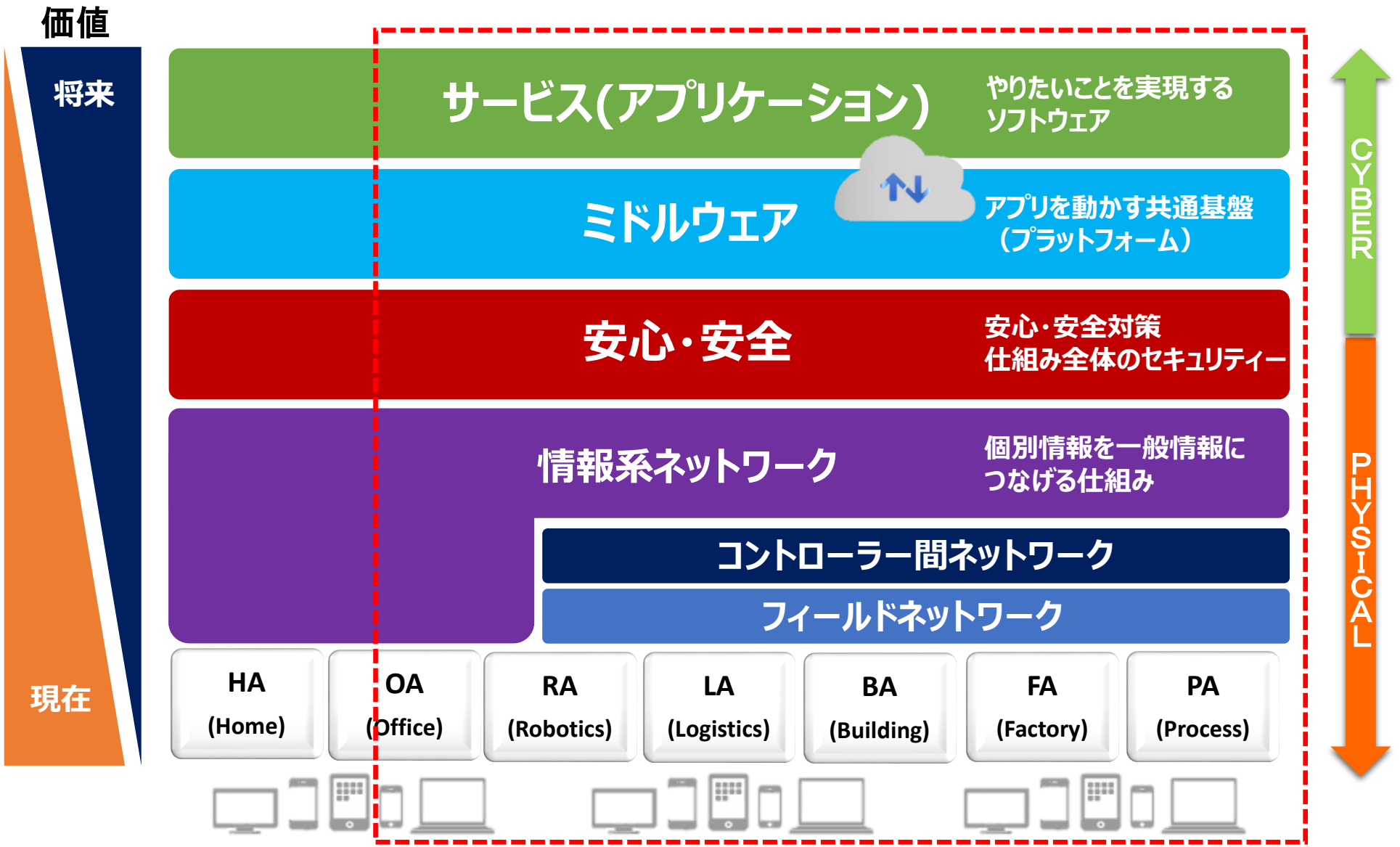



**中期経営計画**
**CE2018**
**最終年度目標**

| | |
|---|---|
| 売上高 | 2,700億円 |
| 営業利益 | 100億円 |
| 営業利益率 | 4% |
| ROE | 10% |

# ４．今後の事業展開

# ICT事業ポートフォリオ



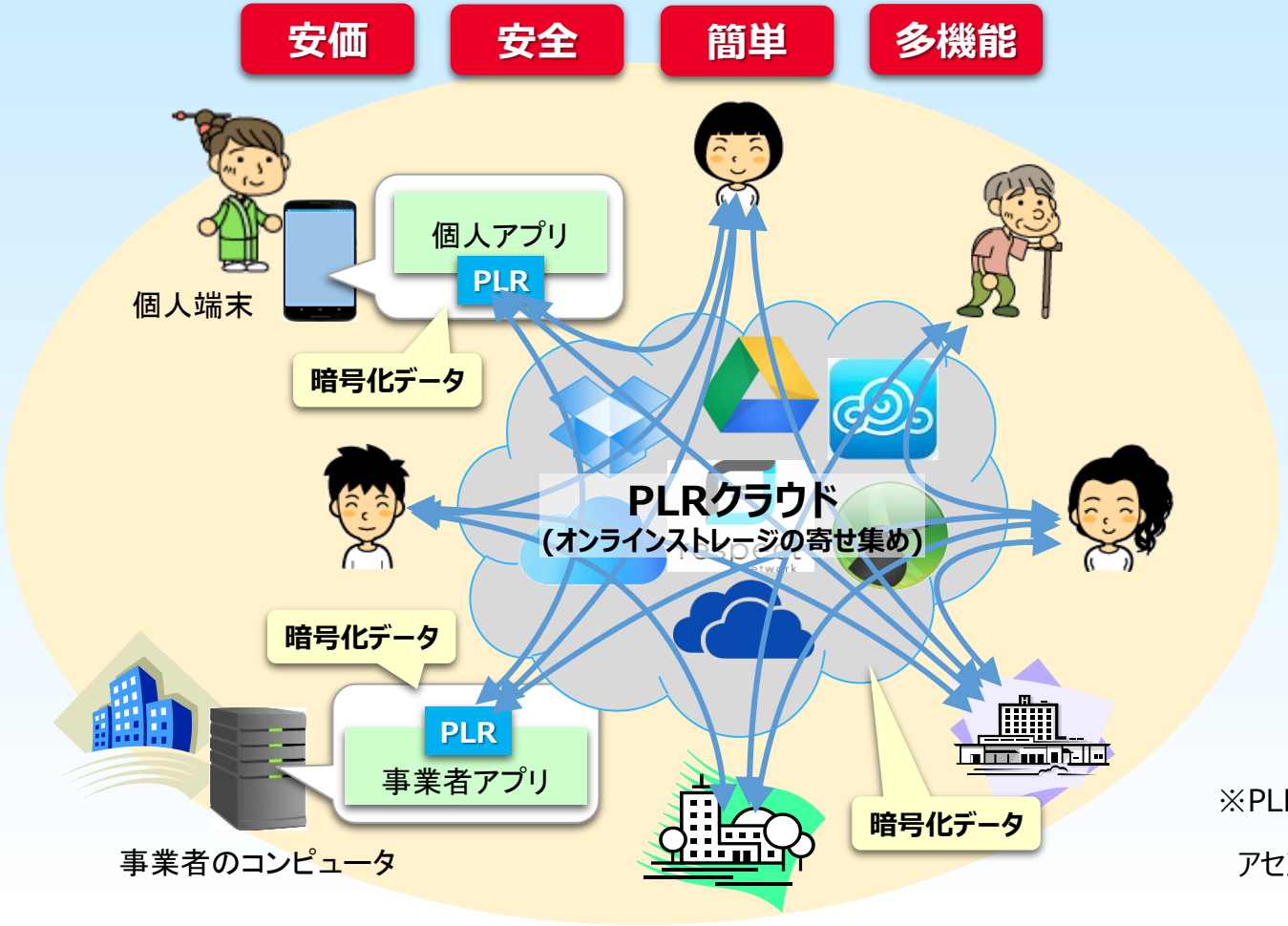
# 安心・安全

## ◆ アセンブローグ社製PLR（ Personal Life Repository ）

RYODEN

## 日本発の分散PDS (Decentralized Personal Data Store)

⇒**下記の特長をすべて有する**、簡単で多機能な唯一の分散PDS




**【主な運用事例】**

- **ヘルスケアデータ**
- **ドラレコユーザ情報　など**

**ITリテラシは不要**

- パーソナルのデータ共有に同意するだけ
- データの運用はPLRで他の個人に委託可能

※PLR(個人生活録; personal life repository)は
アセンブローグ社が提供する分散型PDSの名称です。

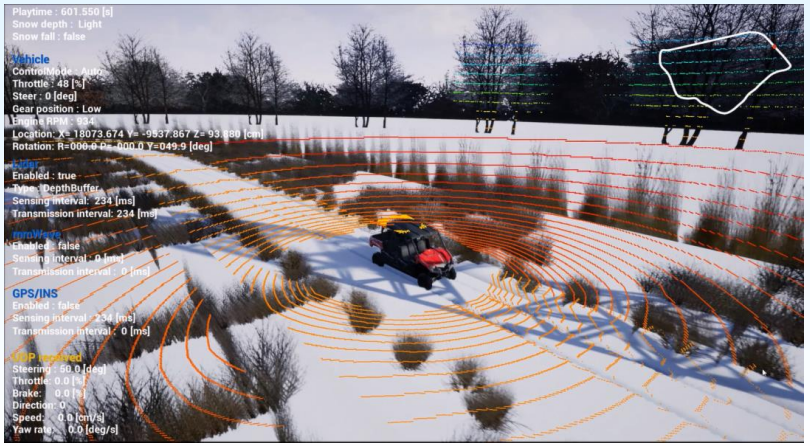
# 安心・安全

## ◆ ADAS（先進運転支援システム）

RYODEN

## MaaS向け自動運転安全性評価ソリューション

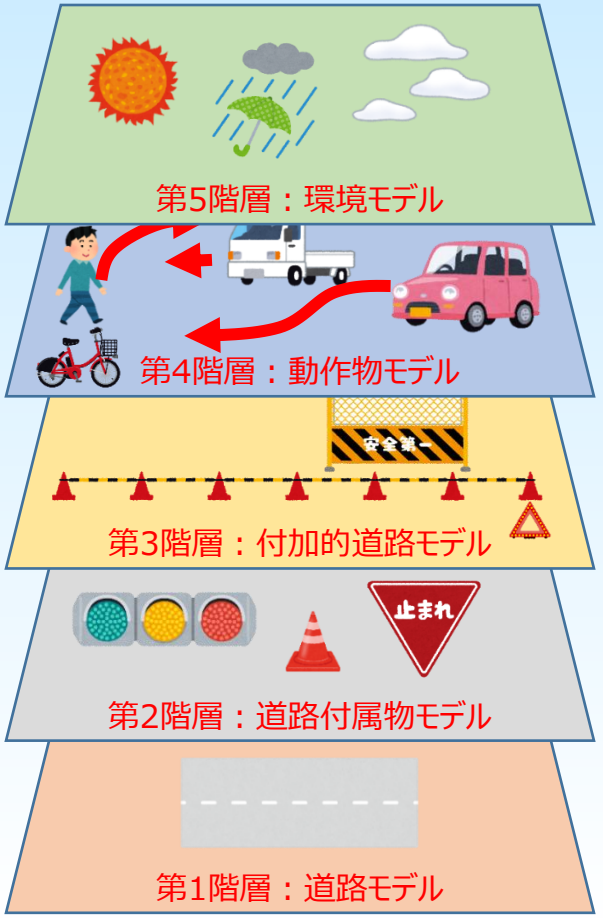
- **自動運転安全性評価支援**
  - ✓ アセスメント
  - ✓ コンサル
  - ✓ エンジニアリング
  - ✓ トレーニング
- **安全性評価シミュレータ**
  - ✓ 自動走行における走行シナリオの再現を効率的に実現




【パートナー】株式会社ヴィッツ

**センサモデル群**

- LIDARモデル
- ミリ波レーダーモデル
- カメラモデル
- サーモセンサモデル
- 超音波センサモデル



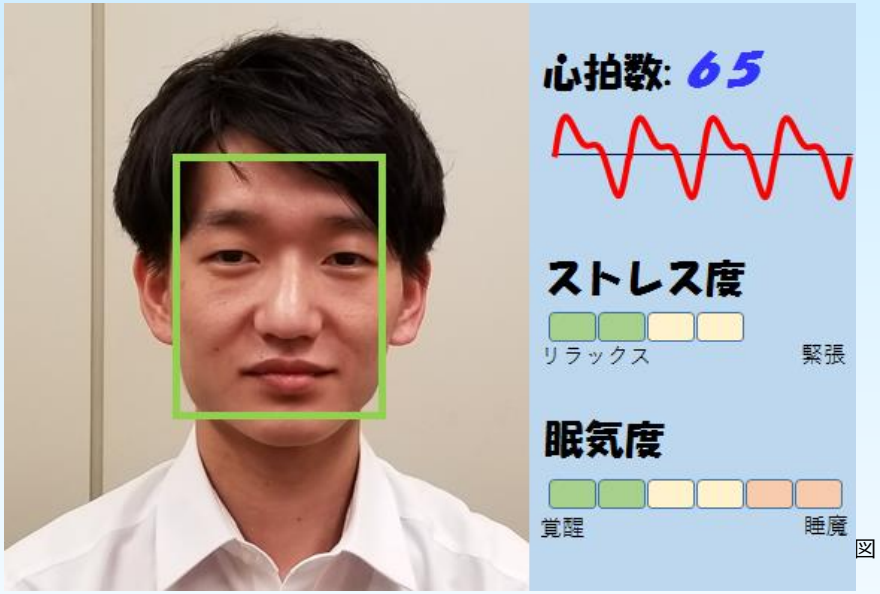
# 安心・安全

## ◆ ADAS（先進運転支援システム）

RYODEN

# 非接触心拍測定ソリューション

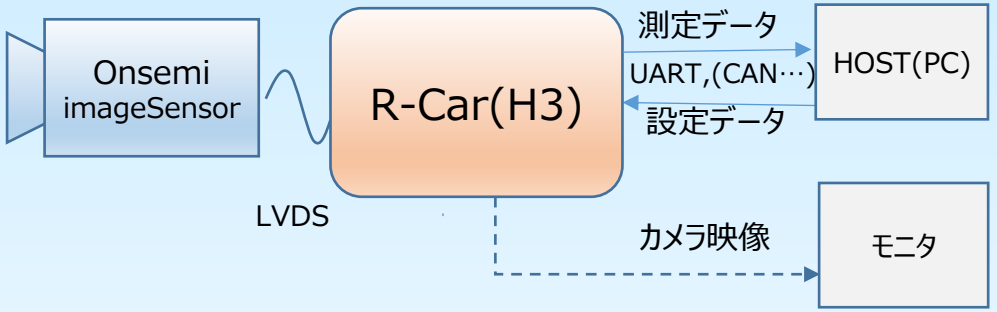
## カメラ撮影による非接触心拍測定技術




図

・カメラ映像から脈波を測定可能
・ R-CAR(組み込みデバイス)での実現
・車体振動、顔ゆれ等でも安定測定(顔追従機能)
・ストレス度・眠気等の自律神経指標判断に対応

## システム構成




## 非接触心拍数測定応用例

・心拍変動により眠気検知→警告音
・急激な体調不良を検知→路肩へ自動停車　etc…

# 安心・安全

## ◆ ADAS（先進運転支援システム）

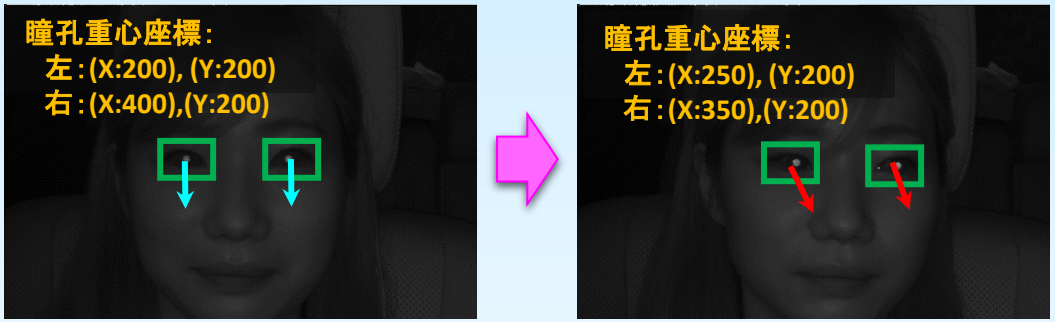
RYODEN

# ドライバーモニター評価ソリューション

## ドライバーモニター技術

・ドライバーの顔認識機能

・ドライバーの視線方向検知機能




イメージ図

## 近赤外線LED搭載カメラモジュール

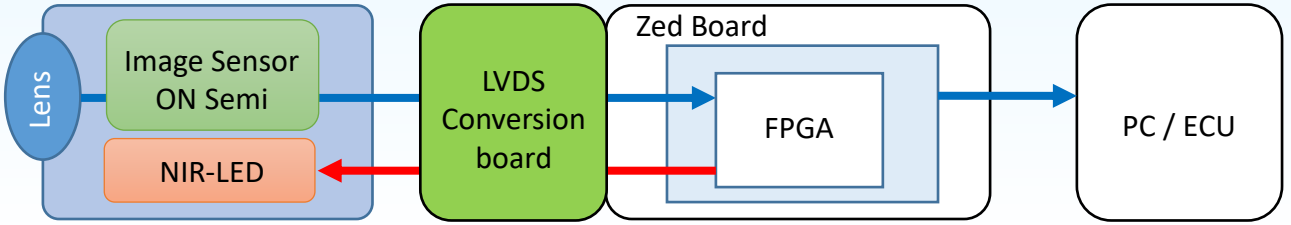
Ability 5102

・NIR-LED 850nm , 940nm

・SENSOR ON Semi AR0135

## 近赤外線２波長撮影カメラシステム

### Camera module




【パートナー】静岡大学、Ability, ON Semi, 株式会社サニー技研

# ミドルウェア

## ◆ 産業用UHF帯RFIDの用途

RYODEN

**Key Word**

- 情報セキュリティ（IT）
- 棚卸
- 貸出＆返却管理
- 探索機能

**Key Word**

- セキュリティ
- ハンズフリー
- 車両入退出
- 総務部

セキュリティ

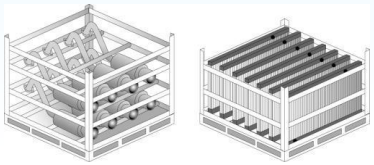
機材管理

工程管理

物流

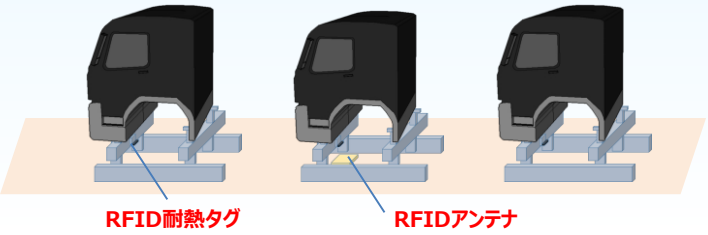
**Key Word**

- 自動車
- トレーサビリティ
- 金属環境＆耐熱
- 通信距離：30cm～1.5m



**Key Word**

- 紛失及び滞留の抑止効果
- 金属容器
- 容器自体の関税対策



# ミドルウェア

## ◆ 産業用UHF帯RFIDの用途

RYODEN

**Key Word**

- 情報セキュリティ（IT）
- 棚卸
- 貸出＆返却管理
- 探索機能

**Key Word**

- セキュリティ
- ハンズフリー
- 車両入退出
- 総務部

セキュリティ

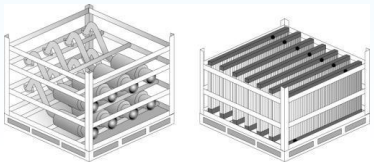
機材管理

工程管理

物流

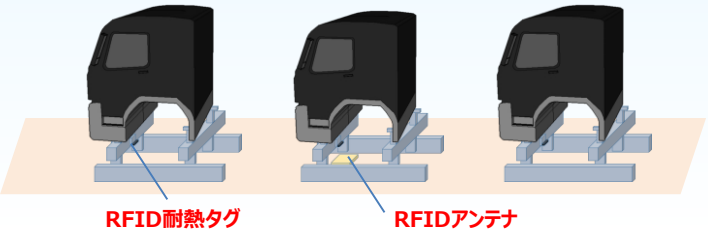
**Key Word**

- 自動車
- トレーサビリティ
- 金属環境＆耐熱
- 通信距離：30cm～1.5m



**Key Word**

- 紛失及び滞留の抑止効果
- 金属容器
- 容器自体の関税対策



# ミドルウェア

## ◆ RFIDクラウドサービス

**RFID等に代表される自動認識技術を活用した、国際標準規格(ISO/GS1)に準拠した共通プラットフォームを当社で開発。**

- ▶ システム構築時間の大幅短縮に貢献、用途拡大に大きな武器となる。
- ▶ クラウドを利用することで、世界中いつでも安全な環境をご提供。
- ▶ システム構築費用・運用費用および初期導入コストの大幅削減が可能。

### ◆ ATLAS-Things　«2018年12月 発売開始»

**複数の拠点でRTI※の入出庫を記録することで、各拠点での在庫を把握することが可能。**

※RTIとは…リターナブル容器・パレットのこと。
(Returnable Transport Itemの略)

# ミドルウェア

## ◆ RFIDクラウドサービス

ATLAS Things

RYODEN

### 1 小規模から大規模までフレキシブルに対応

クラウドサービスを利用するため小規模トライアル～大規模エンタープライズユーザーまで、迅速にシステム導入が可能。

### 2 国際標準規格に対応

サプライチェーンの階層構造に対応。
独自コード体系のみならず、国際標準規格に対応。
（自動車業界：ISO1736x / 流通業界：GS1）

### 3 Web APIを公開

使用する読取機器を限定せず、お客様にてエッジのローカルシステムを開発することも可能。

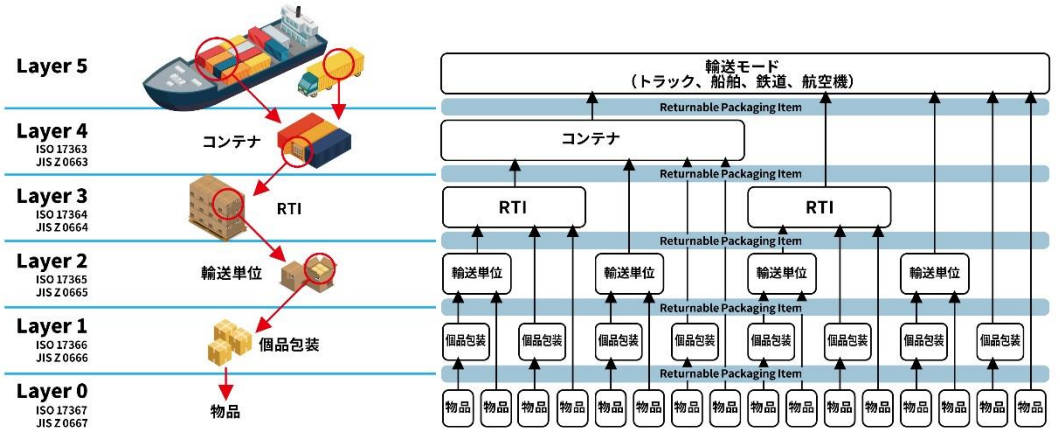
### 4 BIツール連携を公開

データエクスポート機能標準装備、BIツールへインポートして様々な分析が可能。

**国際規格（ISO 1736x / GS1）対応**

**サプライチェーンモデルの階層構造に対応**

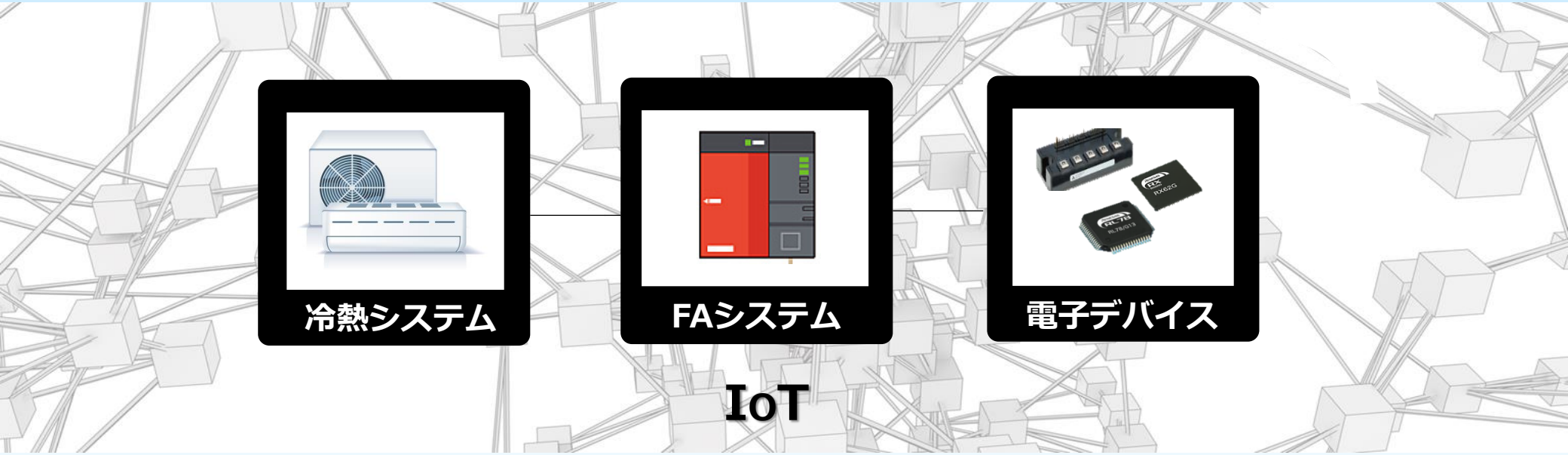
**「モノ」がどのような手段で輸送されているかが分かります。**



# スマートアグリ事業の強み

RYODEN

**「冷熱システム」「FAシステム」「電子デバイス」の製品・ノウハウを植物工場向けに最適化しIOTシステムに統合、運営効率の高い植物工場システムの提供ビジネスです。**




〈 業務内容 〉

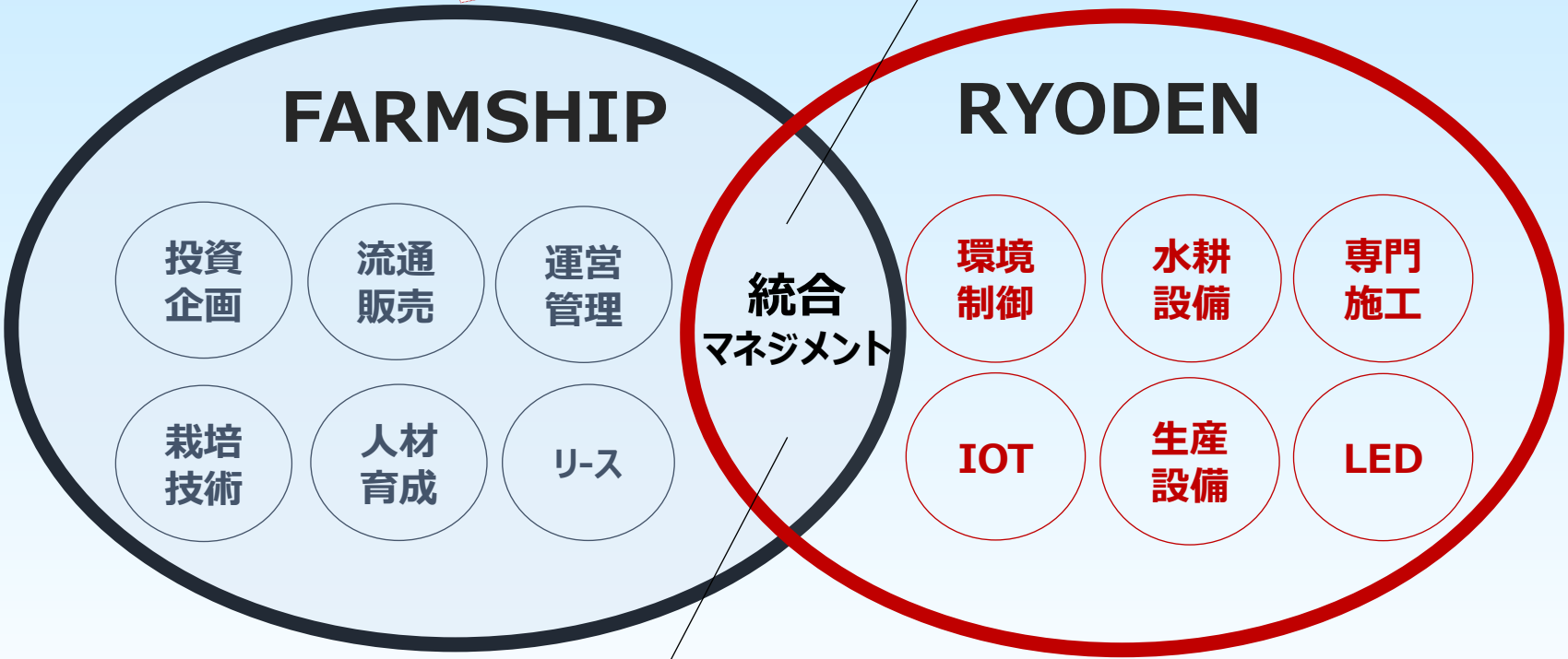
- □ 植物工場の基本設計・機材設備コンサルティング
- □ 植物工場専用機器開発　自社開発LED・計装システム・生産設備システム
- □ 植物工場　元請一括施工　管・電気・水耕・計装・断熱工事等

# スマートアグリ事業：協業スキーム

RYODEN

**難易度の高い植物工場の収益化を実現する技術とサービスを有する企業**

**植物工場事業投資における**
**ソフトとハードを連結し提供　お客様価値向上へ**




**大規模投資を実現する国内で**
**唯一の事業モデルを両社で確立。**

# スマートアグリ事業：菱電×ファームシップの実績

RYODEN

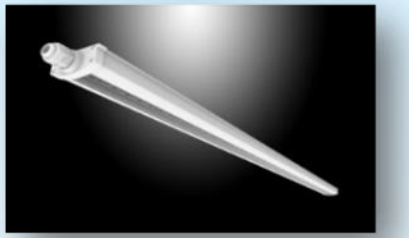
①BlockFARM　コンテナ栽培システム

②小規模植物プラント　農福　連携

③中規模植物プラント

④キクラゲ菌床栽培システム

⑤高速栽培用LED照明



⑥IOT計装システム　開発

⑦既設建物利用　大規模植物工場

# スマートアグリ事業：菱電×ファームシップの実績

**事業立ち上げ2年間で30億円超を受注、さらに約4～50億円規模の案件を商談中**

（単位：百万円）

| | | |
|---|---|---|
| 2017年度 | コンテナ型植物工場 | 600 |
| | 栽培LED照明（単体）販売 | |
| | 大規模植物工場① | |
| 2018年度 | わさび栽培設備 | 2,600 |
| | 果実類研究施設 | |
| | 大規模植物工場②③ | |
| 受注済計 | | 3,200 |
| 商談中案件 | 大規模植物工場④⑤～ | 4,000～5,000 |

# ヘルスケア事業

RYODEN

## 【取り扱い商材】

**病院**
- 兵庫県立尼崎総合医療センター
- JA長野厚生連　傘下各病院
- JA愛知厚生連　傘下各病院
- 東京女子医大東医療センター
- 他　中小病院・クリニック

**医療販社**
- メディセオグループ
- 株式会社八神製作所
- 株式会社イノメディックス
- アイティーアイ株式会社
- 株式会社栗原医療器械店
- 他　全国医療販社500社以上

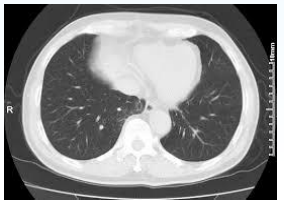
**メーカー**
- NEC
- GEヘルスケア・ジャパン
- フィリップス・ジャパン
- 他　医療機器メーカー

**IT事業**
- PC・Server等
- ネットワーク
- 画像システム
- 構築、保守

**コンサル事業**
- DWH
- 医学管理料算定
- BCP対策
- UPS集約

**サプライ事業**
- 超音波機器サプライ
- 放射線診断装置サプライ
- 各種消耗部品

**医療機器**
- 超音波機器
- 放射線診断装置
- PACS



# ヘルスケア

## ① Riders

【主な特徴】

- 画像の集約
- 集約画像のリアルタイム配信
- 集約画像の記録
- 表示レイアウト選択可能

# ヘルスケア

## ② MySOSforME

### 従業員の検診データをスマートフォンで見える化

- リストバンド型ウェアラブル端末のセンサーデータにより、脈拍・運動量・消費カロリー等バイタルデータを取得（ウェアラブル端末なしでも運用可能）
- 従業員自身や家族の救急時などのいざという時の対応をサポートするスマートフォンアプリ

**【主な機能】**

- **自分自身の救急サポート機能**
- **ご家族などの救急サポート機能**
- **周辺医療施設・AED位置表示機能**
- **検診結果表示・活動量表示**
- **健康サポート**

＜MySOSforME の現状と次世代構想＞

＜スマートフォン画面表示例＞

# バイオミメティックス

## 親水・撥水加工

RYODEN

**バイオミメティクス加工技術を活用し、金型表面に微細な加工を施すことで親水性・撥水性などの物理特性を表面に付与** ➡ **量産によるコスト削減効果が見込まれる**

- **2018年8月**　信州大学とバイオミメティクス加工学に関する共同研究契約を締結
- **2018年11月**　産学連携組織「バイオミメティクス加工技術研究会」を立ち上げ

**→第1回研究会には参加者130名超**

**【主な対象】**

自然、人工物、人

表面

皮膚

船舶, 航空機

土壌・地層

**【主な応用分野】**

産業応用

- ○ セルフクリーニング
  - ・食品等容器の高機能化
  - ・家屋，ビルの壁の防汚
  - ・衣料品の防汚

- ○ 医療の高度化
  - ・少量の検体で分析できるバイオチップ
  - ・ポンプのシール，血栓防止

- ○ エネルギー
  - ・液体の輸送抵抗減少
  - ・電池の高機能化

- ○ 視界の確保
  - ・輸送機器の視界の確保
  - ・画面の防汚

- ○ 安全・福祉機器・防災
  - ・ロボットの滑り止め
  - ・高齢者の転倒防止

# 環境目標（評価尺度）の変化

**2016年**
電力削減・燃費向上

▶

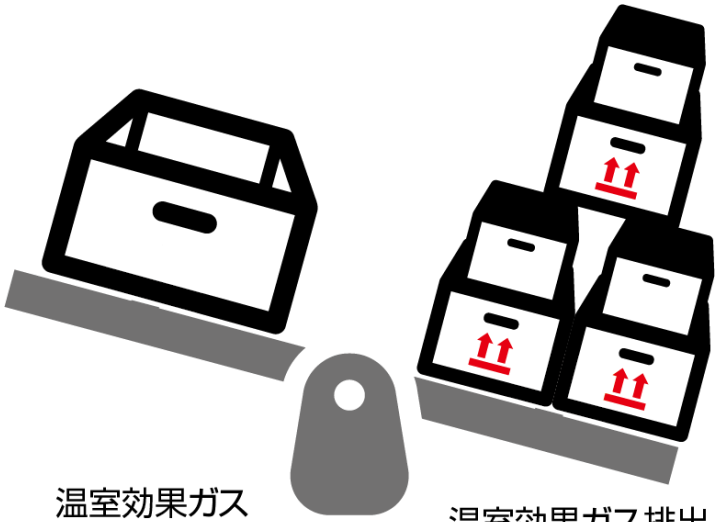
**2017年**
温室効果ガス排出
絶対量の削減

▶

**2018年**
**トータルカーボンマネジメント**
(TCM)の導入

## ◆トータルカーボンマネジメントとは

当社の事業活動で排出する**温室効果ガス排出量**(A)より**温室効果ガス排出削減貢献量**(B)を大きくすることを目標とした環境活動です。



温室効果ガス
排出量(A)
※在庫廃却含む

2018年4～10月累計実績
1.0t-$CO_2$

＜

温室効果ガス排出
削減貢献量(B)

2018年4～10月累計実績
3.5t-$CO_2$

温室効果ガス排出量

環境に負荷(－)
電力
燃料消費
在庫廃却品の
生産時排出量

温室効果ガス排出削減貢献量

環境に有益(＋)
販売した製品使用時の
温室効果ガス排出削減貢献量

※参考：当社が排出する温室効果ガス排出量はサプライチェーン全体の僅か0.015%

# 生物多様性に配慮した社会貢献活動

当社の創立60周年から生物多様性に配慮した社会貢献活動に取り組んでおり、

11年目を迎え、2017年度は世界19箇所で延べ715名が参加 (2016年度 696名)

**<トピックス>**

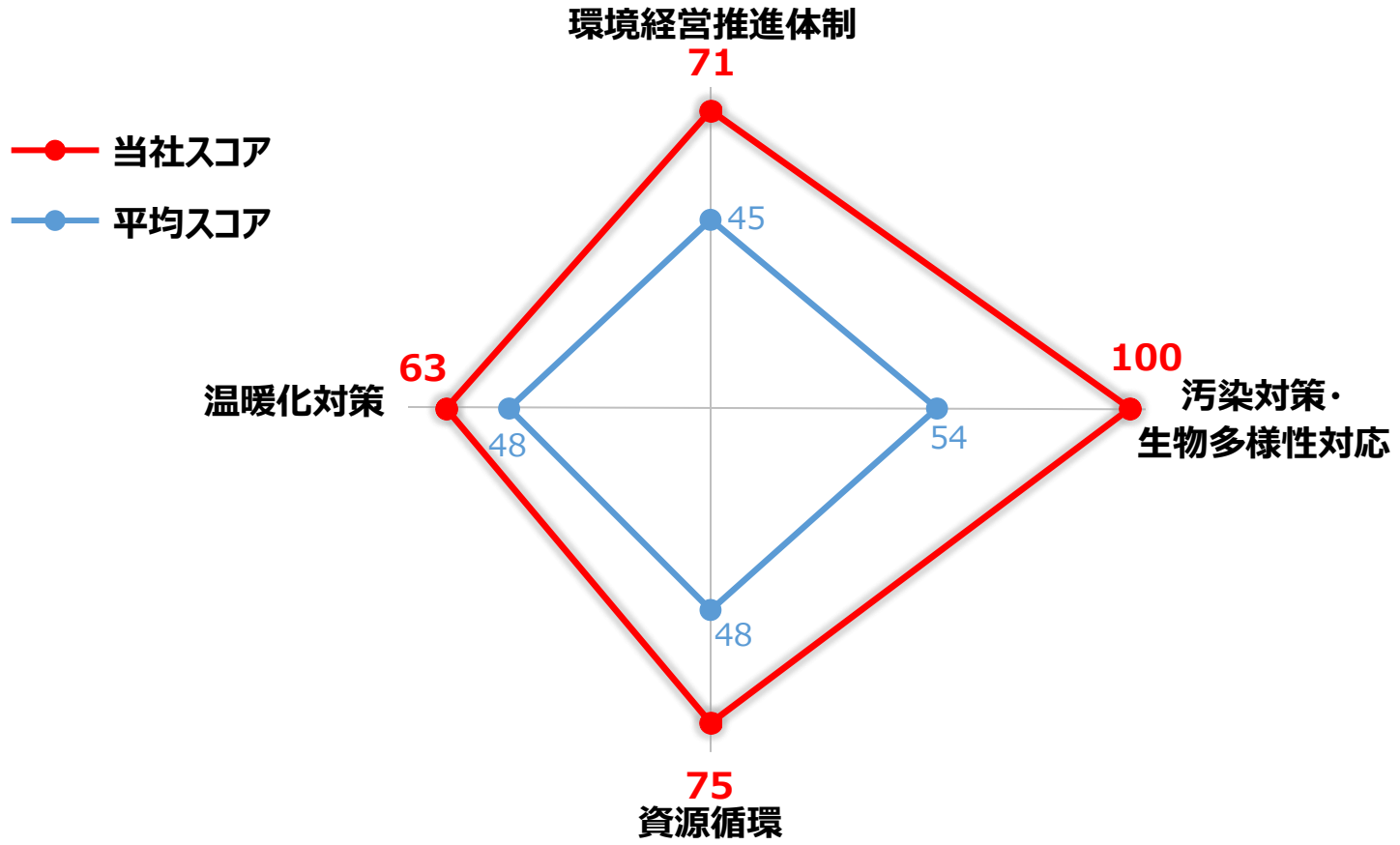
2017年度行政からの表彰を受ける（本社・東京支社・菱商テクノ）

→長年にわたる清瀬松山緑地保全市域での環境保全活動が評価され
清瀬市から感謝状を拝受。

★ 2018年度は、米国RUS-GA(アトランタ)・中国RSH-DL(大連)が初参画

# 外部評価

## 第21回（2017年度）日本経済新聞社主催 環境経営度ランキング
## 非製造業・商社部門：第11位（全53社中）



# 当社の強みとは？

①三菱電機の主力代理店として強固な関係性を有し、
情報系・システム系はじめ、グループ会社の知見を
活かせる

②安定した基盤事業を土台とした新規事業への取り組み

③IoT・ICTの基盤となる半導体・デバイスの知識が豊富

④新規事業に取り組むことのできる人材が揃っている

# お問い合わせ先

菱電商事株式会社

〒170-8448 東京都豊島区東池袋3-15-15
総務部
e-mail:ryoden_ir@mgw.ryoden.co.jp
TEL:03-5396-6111
FAX:03-5396-6448

**資料の取り扱い上のご注意**

このプレゼンテーションで述べられている業績計画等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。その要因のうち、主なものは以下のとおりです。

・主要市場（日本、アジア等）の経済状況、消費動向及び製品需給の急激な変動
・ドル等の対円為替相場の大幅な変動
・資本市場における相場の大幅な変動等